



令和3年度  
スポーツによる地域の価値向上プロジェクト

別添報告書③ 武道関係施設データベースの拡充及び利活用の促進

令和4年3月31日  
Jtb Communication Design  
株式会社JTBCコミュニケーションデザイン



# 武道関係施設データベースの拡充及び利活用の促進

## 本事業での実施事項

令和3年度の実施事項として以下①～④を提案し、事業を実施。

### 1. さらなる「民間施設の拡充」に向けて

#### ■ 提案①

#### 武道施設データベースの情報拡充と改修

##### 【概要】

令和2年度事業で回答を得た施設のリストを該当の地域スポーツコミッションに提示。地域スポーツコミッション経由で未回答施設に対し、回答協力要請を依頼することで、民間施設や取り組みに積極的な施設からの回答拡充を図る。  
※アンケートの形式は、令和2年度のWebフォームを活用することで、効率化を図る。

### 2. 「ツーリズムの深掘り調査」の推進

#### ■ 提案②

#### 武道施設や関係者への「武道ツーリズム深掘り調査」

##### 【概要】

令和2年度事業でアンケートに回答した施設の中で、「外国人を受入れ可否について『要相談』」と回答した施設の課題や、受入れ実績が豊富で成功事例に該当する施設に対し、追加でヒアリング調査を実施し、その要因分析や解決策の検討につなげる。

#### ■ 提案③

#### 地域内推進関係者へのグループインタビューの実施

##### 【概要】

協力を得られた主体を対象に、グループインタビューを実施。施設や周辺の協力者の取り組みについてヒアリングすることで、推進に必要な要素を抽出し、地域内の合意形成やさらなる取り組みの推進のきっかけを提示する。

### 3. 顕在化した情報の「利活用」の推進

#### ■ 提案④

#### 利活用促進オンラインセミナーの開催

##### 【概要】

日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）との連携を求め、スピーカーや実施内容を協議の上、令和3年度の実施事項を通して、取り組み進捗や武道ツーリズム推進のためのデータベース利活用のためのセミナーを開催し、自治体、旅行事業者、関係団体、企業への周知を図る。



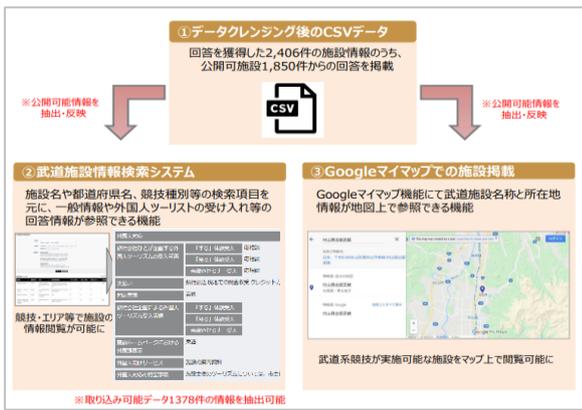
■提案①

# 武道施設データベースの情報拡充と改修

武道施設データベースの改修により「武道施設情報検索システム」と「GoogleMap」の機能の連動を実現。調査事業を通して、**施設情報を追加し1,868件を掲載**（令和3年度1,850件より18件の追加）。2/28「武道ツーリズム認知拡大のための検討会」、3/9「武道ツーリズムオンラインミーティング」で参加者にデータベースを紹介。

### 【令和2年度事業】

日本全国武道場へのアンケート調査を実施。  
**1850件の武道施設の基本情報**や武道ツーリズム受け入れ実績をWeb上に可視化



### 【令和3年度事業】

武道施設等へのヒアリング調査等を通し、**1868件の施設情報を掲載・検索システムとマイマップの機能を連動**（改修を実施↓）



### ■令和3年度事業でデータベースに追加した道場

都道府県	施設名	公共・民間
愛知県	新陰流兵法道場 春武館	民間
愛知県	ノーティーカラテアカデミー本部道場	民間
沖縄県	沖縄空手会館	公共
埼玉県	上尾市民体育館	公共
埼玉県	西水庵道場	民間
静岡県	八光流柔術 草薙道場	民間
静岡県	洗心岩倉道場	民間
大阪府	本部流総本部	民間
大阪府	武道 格闘技 日本拳法 大阪 都島	民間
東京都	武蔵一族 本陣道場	民間
東京都	国際武道国際武道正風会 日本傳柔術研究会柔徳塾	民間
東京都	特定非営利活動法人 インターナショナル合気道協会	民間
東京都	戸山流備前会	民間
福岡県	合気護身術 武ノ風	民間
兵庫県	沖縄傳湖城流空手道林山会	公共
北海道	合気護身術大東流無傳塾	公共
和歌山県	公益財団法人和歌山県柔道連盟 藤村茂記念 柔道会館	民間
兵庫県	兵法武術研究会	民間



## ■ 提案②

**武道施設や関係者への「武道ツーリズム深掘り調査」****1. 武道ツーリズム取り組み団体への個別ヒアリング調査**

武道ツーリズムの担い手となる道場・地域スポーツコミッション・観光DMO・自治体等**計25件にヒアリング**を行い、共通課題や取り組みを顕在化し、各者が担うべき役割や、推進にあたっては地域内での「合意形成」が重要であること等を考察した。

※以下、下線のヒアリング対象6件は、別事業・武道ツーリズムネットワーク構築・強化事業で進行。

※**ヒアリングの詳細報告については、別添資料参照。**

## ■ 道場への調査

都道府県	武道関連施設（道場）
北海道 福島県	日本総合武術研究会（総合武術） 溝口派一刀流剣術（剣道）
東京都	戸山流備前会（居合道） 弓馬術礼法小笠原教場（弓馬術） 合気会本部道場（合気道） 武蔵一族 本陣道場（忍術）
埼玉県	静仙洞ユーアイ弓道場（弓道）
静岡県	武修館剣道場（剣道）
奈良県	合気道萬葉塾（合気道） 川上村武道場（剣道）
和歌山県 兵庫県	合気道田辺道場（合気道） 公益財団法人 修武館（剣道）
福岡県 沖縄県	錬志会館（空手） 琉翔館総本部（空手） 赤嶺空手道場（空手） 浦添市民体育館（空手）

## ■ 自治体・観光団体・事業者等への調査

自治体（地域）名	種別	自治体・団体・事業者
山形県村山市	居合道	・村山市役所
福島県 会津若松市	剣道	・会津若松市観光課 ・会津若松観光ビューロー
石川県金沢市	弓道	・金沢文化スポーツコミッション
和歌山県 田辺市	合気道	・田辺市スポーツ振興課 ・田辺市観光振興課 ・田辺市熊野ツーリズムビューロー
熊本県大津市	剣道、居合道	・大津町役場商業観光課 ・肥後おおづ観光協会
沖縄県	空手道	・沖縄県庁 ・沖縄観光コンベンションビューロー ・沖縄伝統空手道振興会 ・アゲシオジャパン（旅行事業者） ・JTB沖縄 ・沖縄空手会館



## ■ 提案②

## 武道施設や関係者への「武道ツーリズム深掘り調査」

### 1. 武道ツーリズム取り組み団体への個別ヒアリング調査

本調査によるヒアリング項目や設問の回答傾向を以下にて報告する。

#### <ヒアリング項目と回答の傾向報告>

大項目	設問	詳細
インバウンドの受入を始めた時期と背景	受入の時期	早い施設で1950年ごろより
	取組の背景	指導者との縁（指導者が海外で指導した際に感動し、日本でさらに指導を受けたいなど）や、知人からの依頼をきっかけとして受け入れを始めた施設が多い。
参加者について	国	欧米からの参加が多い。各武道とも欧米に道場が多く、指導者が指導に行くことが多いことが背景にある。
	武道レベル	・空手や剣道は中級者以上が多い。 ・真剣を使用する居合道などは海外でできる場所も少ないため初級者が多い。
	参加理由	「海外で教わった際に接してより深く教えたい」、「本場（日本）で本物の体験をしたい」、「聖地で稽古をできることに対する憧れ」などが参加理由として多い。
	訪日における武道体験の位置づけ	初級者においては「訪日旅行における1コンテンツとしての楽しみ」というケースが多いが、中級者や上級者については「とにかく武道をしたい」という主目的のケースも見られる。
提供している体験プログラムについて	申し込み方法	道場のホームページから、あるいはメール等で直接申し込むケースが多く、旅行会社等を経由しての申し込みは少ない
	内容	・「参加者の希望に応じて内容を決定する」「あらかじめ構成した体験専用プログラム」「一般稽古への参加」とに分かれるが、「参加者の希望に応じて内容を決定する」ケースの比率が高い。
	時間と価格	・時間も道場により異なるが2時間前後が多い。 ・外国人向けの体験を商売として行う施設（道場）は稀で、対価を受け取らないケースも少なくない。費用を受け取る場合でも実経費分のみというケースは多い。
外国人を受け入れたメリットと課題	外国人受入れのメリット	外国人を受け入れるなかで「世界の人と触れあうことができる喜びを感じる」という指導者が多い。嫌な思いをしたり、今後は受け入れたくないという施設は見られない。
	課題	道場へのヒアリングでは、外国人受入れに関する課題は特にないという回答が多い。 しかし、現場では指導者の高齢化が進んでいる。また、価格を受け取らない施設が多いことなども含め、持続可能性について不安な点も見られた。



## ■ 提案②

**武道施設や関係者への「武道ツーリズム深掘り調査」****1. 武道ツーリズム取り組み団体への個別ヒアリング調査**

本調査によるヒアリング項目や設問の回答傾向を以下にて報告する。

## &lt;ヒアリング項目と回答の傾向報告&gt;

大項目	設問	詳細
武道ツーリズムに取り組み始めた時期と背景	取組開始時期	2017年～2019年頃が多い。
	取組の背景	・背景は“武道発祥の地であることを活かす”、“大会開催を通して可能性を感じた”という声が多く聞かれた。また、その当時スポーツ庁が武道ツーリズムを重点テーマとして設定していることを踏まえ、地域の観光施策推進策の一つとして取組開始
取組について	事業の形態	・自治体が観光協会、観光ビューローに委託して事業を推進するケースが多い。 →受託者側の役割、業務範囲は異なるが、おおむねこのパターン
	取組開始にあたり	まずは関係者間による協議、話し合い。 自治体、観光推進団体、旅行会社、地域の武道連盟、受け入れ先となる施設等が参加。  この話し合いで具体的な役割等について合意形成ができれば商品造成までスムーズに進む可能性が大きくなる
造成した商品（体験プログラム）について	造成にあたり重視したこと	・「感動体験」（参加者が忘れられなくなる体験） ・その土地と武道との関連性を知ることのできる内容とすること
	内容	・あらかじめ内容と価格を決めた商品としているケースが多い。
	価格設定	・長く続けていくためにも、関係者にとって必要な金額が行き渡るように設定している。
課題（商品造成まで至った地域）	武道の訴求力「なぜ、その地でその武道なのか・」	取組んでは見た者の、その地で武道をする理由を明確にPRできず販売拡大の難しさを感じるという地域が複数見られた。
	コロナで販売が進まず	「販売開始後すぐにコロナ感染拡大の影響を受けて外国人が訪日できなくなった」、「モニターツアー実施まで行ったところでコロナが広がった」など、これからというタイミングでコロナが感染拡大したことにより、各地域とも本格的な販売強化ができない状況にある。



■ 提案②

# 武道施設や関係者への「武道ツーリズム深掘り調査」

## 2. 地域関係者へのヒアリング・課題整理

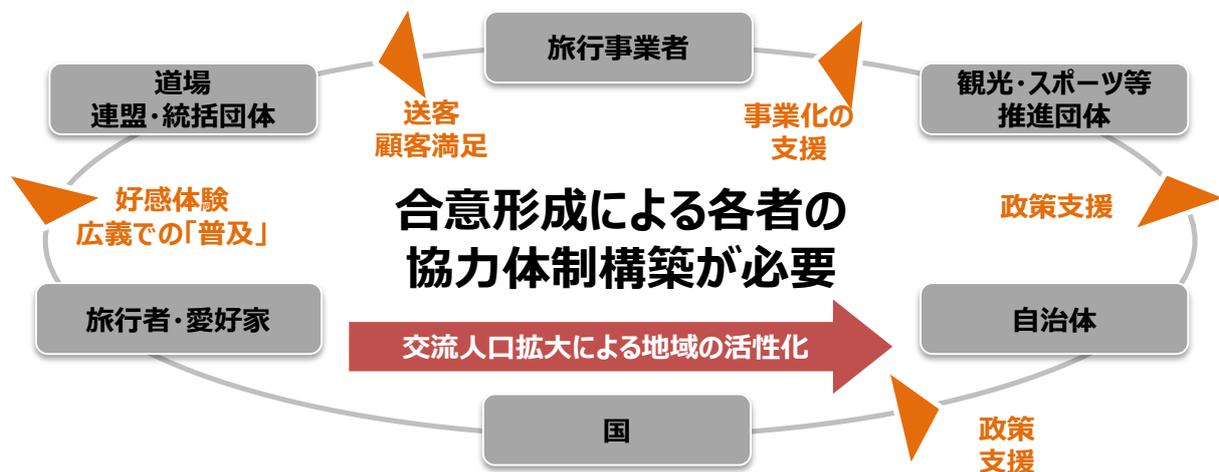
ヒアリング調査を通して、地域のツーリズム推進のために、それぞれが必要とされている役割や課題を考察した。令和4年度の「合意形成」に向けては、これらを前提とすることが重要。

### 【関係者の役割・意義・課題の整理】

対象	武道ツーリズム推進に向けた役割	組織の意義	特有の課題
国	・地域振興のための政策の立案・実行 ・モデル事業の推進による優良事例の創出 ・マーケット調査やプロモーション	スポーツによる地域活性	各地域での取組モデル増加 自治体等への情報提供
自治体	・自治体単位での施策の展開、旗振り ・マーケット調査やプロモーション ・道場への協力依頼	資源の発掘による 自地域の活性化	マーケティング戦略 中長期での推進計画立案 政策の旗振り
推進団体 ※DMO、観光協会、地域SC等	・検討委員会の推進、各社の役割分担 ・商品化に向けた試行の実践	公共・民間のハブ機能、観光等の振興	地域の合意形成 選ばれるための理由づくり 政策実施の資金調達
旅行事業者	・国内、海外への誘客営業 ・道場と連携した顧客満足度の追究 ・予約管理、精算、各種調整手配業務	顧客満足度の創出、マネタイズ	顧客（量・質）の拡大 業界知識・人脈の形成
道場	・見る、する、プログラムの提供 ・安全管理	普及（道場の発展）	人材育成を含む受入環境整備
連盟・統括団体等	・所属道場や流派への啓蒙	普及（プレゼンスの向上、すそ野の拡大）	普及を念頭においた商材化への理解

### 【武道ツーリズムの推進に向け目指すサイクル】

誘客における地域の活性化をゴールとした場合、以下にプロットされた関係者がそれぞれの役割を担いながら協力し合う体制が必要と考察。





■ 提案②

# 武道施設や関係者への「武道ツーリズム深掘り調査」

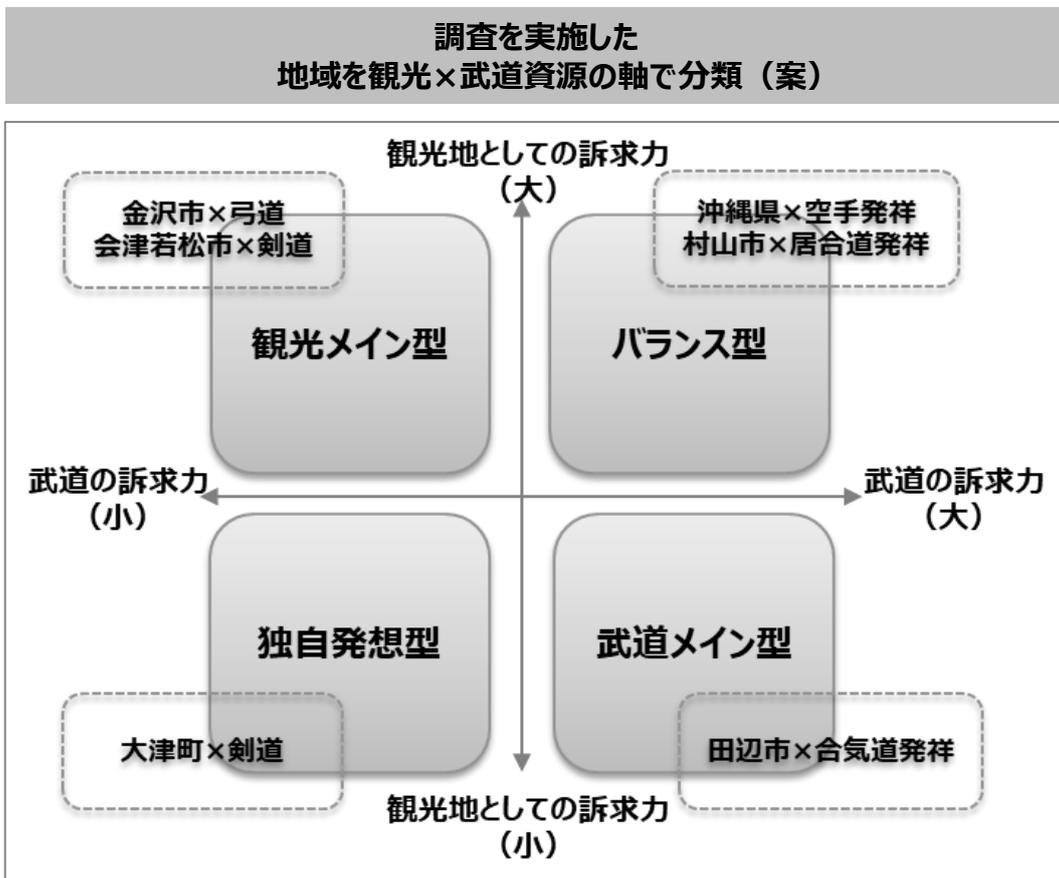
## 2. 地域関係者へのヒアリング・課題整理

ヒアリング調査を通して、地域のツーリズム推進のために、それぞれが必要とされている役割や課題を考察した。令和4年度の「合意形成」に向けては、これらを前提とすることが重要。

### 【ヒアリング結果】

#### 地域の武道ツーリズム推進のポイント

- ①一重に「武道ツーリズム推進」といっても、地域の環境や特性により、課題や推進の方向性は異なる。
- ②今後の推進にあたっては、下記の通り、地域を観光・武道の訴求力の軸で4つの象限にプロットし、発展の傾向や共通課題を捉える試みが有効と考察。  
※明確な基準は必要性含め今後検討
- ③それぞれの共通課題や取組み方向性を検証し、他地域の参考になる手引きや事例集を示し今年度以降、全国の実践機運を高めたい。また、今後は以下4象限におけるそれぞれの課題やコンテンツ造成の在り方を模索していく必要がある。



※上記のプロットは今後、各地域の推進を同時進行的に計画する上で、イメージした分類案であり、4象限の区分にあたっての明確な指標等は未設定です。



## ■提案③

## 地域内推進関係者へのグループインタビューの実施

本グループインタビューを通して、地域のツーリズム推進の取組みを深掘りし、今後の発展（販売拡大）に向けて必要なことをヒアリング。また、ヒアリングを通して、地域とスポーツ庁とのパイプの形成や、地域内の合意形成や課題の共有化もねらいとして実施した。

**※ヒアリングの詳細報告については、別添資料参照。**

## ■実施概要

項目	内容	備考
日時	①令和4年3月14日 14－15時 対象：山形県村山市 ②令和4年3月16日 14－15時 対象：福島県会津若松市	※個別ヒアリング調査を経て、コンテンツ造成まで至っている2地域を本事業の対象として選定
場所	オンライン形式 ※Zoomを利用	
参加者	・スポーツ庁 参事官 地域振興担当 ・株式会社JTBコミュニケーションデザイン ・株式会社矢野経済研究所	
ヒアリング項目 ※抜粋	・取組みの背景 ・合意形成に至るまでの経緯 ・関係者の役割、メリット ・商品造成にあたって ・販売の課題 ・スポーツ庁への要望	※ヒアリング記録は別添資料にて報告

## ■実施対象2地域6者について

自治体（地域）名	種別	グループインタビュー対象者
山形県村山市	居合道	・村山市 商工観光課 ・村山市 観光物産協会 ・村山市 まちおこし協力隊 ※コンテンツ造成を後押しされた村山市前副市長も途中からご同席
福島県会津若松市	剣道	・会津若松市観光課 ・会津若松観光ビューロー ・東武トップツアーズ株式会社



## ■提案④

## 利活用促進オンラインセミナーの開催

国内関係者に向けた、武道ツーリズムの事例共有や、スポーツ庁の取り組みを紹介し、推進の機運を高めるためにオンラインセミナーを開催した。また、2部では別事業「武道ツーリズムネットワーク構築・強化事業」の取り組みとして、関係者間の「ネットワーク」を高めるためのオンラインミーティングを実施した。

## □開催日時

令和4年3月9日（水） 14:30 - 16:30  
オンライン開催

スポーツ庁主催

武道ツーリズム  
オンライン  
ミーティング

3月9日（水）14時～16時半

申込締切 3月2日（水）15時



## □次第

= 1部：基調講演及び事例紹介 =

- (1) 主催者代表挨拶
- (2) 基調講演  
大阪体育大学学長／日本スポーツツーリズム推進機構代表理事  
原田 宗彦氏「武道ツーリズムコンテンツによる地域振興の可能性」
- (3) 今年度スポーツ庁事業の取り組み紹介
- (4) 事例紹介
  - ①山形県村山市商工観光課 片桐 諒氏  
「居合道で街おこし～自治体としての武道ツーリズム創出の取り組み」
  - ②一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）  
企画・施設事業部 企画課 山城 圭之慎氏  
「沖縄空手をテーマとした新観光素材商品化の取り組み」
  - ③Ageshio Japan 株式会社 COO 古田 桂一氏  
「デジタルを活用した武道のオンライン稽古の取り組み」

本事業での  
取り組み

= 2部：ネットワーキング =

- 各事例紹介の登壇者をモデレーターに3つのルームに分かれ、相互交流を実施。
- ◆ルーム①片桐氏（村山市）「テーマ：地域資源を生かしたコンテンツづくり」
  - ◆ルーム②山城氏（OCVB）「テーマ：地域一体でのコンテンツ展開」
  - ◆ルーム③古田氏（Ageshio Japan）「テーマ：デジタル×武道ツーリズム」

別事業  
「武道ツーリズム  
ネットワーク構築・  
強化」事業  
での取り組み



■提案④

# 利活用促進オンラインセミナーの開催

## □参加者数

76名

※最終実績としての参加者数

※自治体、地域スポーツコミッション、大学教授、道場、競技団体、観光事業者等

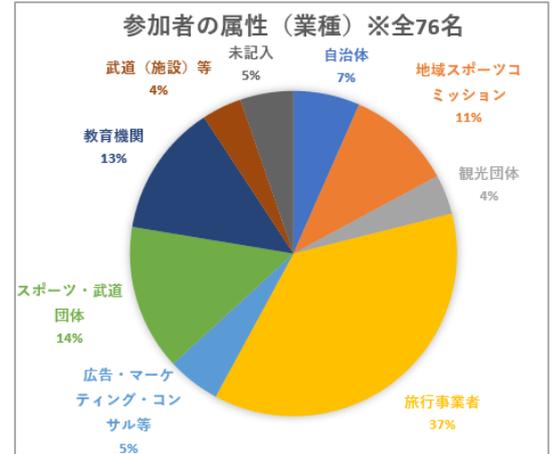
全国各地からの参加がみられ、オンラインの特性を活かし、それぞれの取り組みや課題を共有した。

## □参加者の業種

✓自治体、地域スポーツコミッション、武道関係者、旅行事業者、観光団体等、幅広い業種からの参加がみられた。

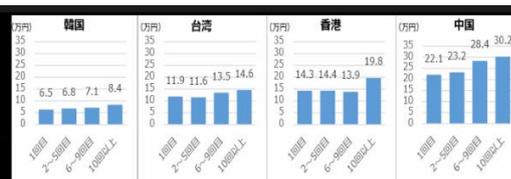
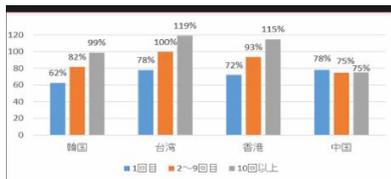
✓旅行事業者の参加が37%と最多。

✓次いで、スポーツ・武道団体が14%



## □基調講演の概要紹介

所属	テーマ	要旨
大阪体育大学 学長 原田 宗彦氏	武道ツーリズムコンテンツによる地域振興の可能性	スポーツツーリズム需要拡大戦略における「武道ツーリズム推進の背景」や、全国での武道ツーリズムの取り組み、マーケティングの必要性や、コロナ禍を踏まえた推進の在り方について、講演を通して提言いただいた。



**スポーツツーリズム需要拡大戦略(新規重点テーマ)**

スポーツツーリズムの需要拡大に向けた官民連携協議会での議論と、国内外の消費者を対象としたスポーツツーリズムに関する動向やニーズについての調査では、課題やコンテンツの磨き上げの必要性は取現されるが、日本の自然環境下で行うアウトドアスポーツは「武道」の息遣いや体験は、日本の強みが活用でき、国内及び外国人旅行者の需要拡大に有望な分野であるとされたことから、従来より取り組まれているスポーツイベントの開催・誘致や、スポーツ合宿・キャンプの誘致に加え、この2つを新規重点テーマとして設定する。

**【スポーツツーリズム】**  
スポーツの参加や観戦を目的として地域を訪れ、地域資源とスポーツを融合した観光を楽しむツーリズムスタイル。

- ・スポーツイベント(参加型・観戦型)の開催や誘致
- ・スポーツチーム・団体の合宿やキャンプの誘致
- ・プロスポーツトップチーム等の観戦による誘客

現在主要であるこれらの分野についても、引き続き拡大に向けて取り組む。

**世界に誇る日本の自然資源を活用したアウトドアスポーツツーリズム(するスポーツ)**

- ・「スノースポーツ」、「登山・ハイキング・トレッキング」、「ウォーキング」、「サイクリング」をはじめ、国内外問わず実施意向が高い。
- ・最高の環境が地方部にあるため、地方部への誘客に繋がる。
- ・雪質や登山等、日本特有の自然資源・環境には海外からも高い関心が寄せられ一部地域には既に多くの外国人が訪れている。
- ・スポーツ庁では2017年6月に「アウトドアスポーツ推進言語」を策定。体力や年齢に関わらず、誰もが楽しめるやさしいスポーツジャンルであるため、国内のスポーツ実施率向上にも寄与。

**世界の関心が高い日本発祥・特有の武道ツーリズム(みるスポーツ)**

- ・「武道(柔道・空手・剣道など)」、「大相撲」は中国をはじめ各国で「みるスポーツ」としての関心が高い。
- ・空手をはじめ、武道は海外でも愛好者が多く、受入体制やコンテンツを整備することで、海外の愛好者・日本文化への関心が高い層に対し、発信力のある日本への関心・訪日誘客を喚起できる。
- ・スポーツ庁では2016年より文化庁、観光庁と連携し、スポーツと日本の文化芸術資源を融合させた「スポーツ文化ツーリズム」を推進。

原田 宗彦 / 大阪体育大学 学長、JSTA 会長



■提案④

# 利活用促進オンラインセミナーの開催

## □スポーツ庁事業の取組み紹介

所属	テーマ	要旨
株式会社JTB コミュニケーション デザイン 荒内 勇人	今年度スポーツ庁 事業の取組み 紹介	令和3年度事業での 調査事業、武道施設 データベース改修等 事業の取組み紹介と 今後の推進にむけた 考察を報告。  1. 武道施設データベースについて  ■令和2年度事業 日本全国武道場へのアンケート調査を実施し、1650件の武道施設 の基本情報や武道場データベース構築に活用可能化  ■令和3年度事業 武道施設等へのアンケート調査を7週、16件の情報収集 ・検索システムはマイマップの機能も追加（2段階実施、未定）  進化 拡充

## □事例紹介の概要紹介

所属	テーマ	要旨
山形県村山市 商工観光課 片桐 諒氏	居合道で街おこし ～自治体としての 武道ツーリズム創 出の取組み	村山市の武道ツーリズム が市のワークショップでの アイデアで生まれ、その 後関係者との合意形成 により商品化に至った プロセスや課題を紹介。  武道ツーリズム創出に向けた動き 2  観光商品造成に向けワークショップと体験会を開催 時間をかけて合意形成を図る 平成29年9月から平成30年12月までの期間に 6回のワークショップと13回の体験会を開催。 伝統的な居合道を学びつつもエンターテインメ ント性のある商品にするため、プロデューサー に(株)アイサイト馬場氏を迎え、時間をかけて、 関係者と合意形成を図りながら商品化を進めた。
沖縄観光コンベンションビューロー 山城 圭之慎氏	沖縄空手をテーマ とした新観光素材 商品化の取組み	「守・破・離」の概念を用 いたフレームワークにより ライト層～コア層までを ターゲットとした沖縄空手 コンテンツ創出の取組み を紹介。  沖縄空手ツーリズムコンテンツ創出のための考察した「守・破・離」フレームワーク コンテンツ詳細表
Ageshio Japan 株式会社 COO 古田 桂一氏	デジタルを活用し た武道のオンライン 稽古の取組み	合気道の海外門下生 向けオンライン稽古の や、国内ビギナー向けの オンライン空手体験等、 コロナ禍ならではのデジ タルを活用した武道ツ ーリズムの取組みを紹介。  施策 2：合気道でのオンライン稽古 ・本年度のスポーツ庁委託事業で(株)日本旅行社と協業の元、 合気道寛神部本部道場の連携をし、海外門下生向けに2回のZoom稽古を実施。 1/16：北米向けセミナー (115名参加) 1/22：ロシア向けセミナー (179名参加) ・2回のセミナーで294名が参加（ロシアセミナーは直前1週間まで32名→179名に急増） ・ロシア向けセミナーでは、満足度4.85点・再参加意向4.8点・本部道場訪問意向4.8点 ・合気道のような相手中心の武道でも、オンライン稽古で高い満足度を実現することが可能 ・オンライン稽古の実施は、海外門下生との関係強化や本部道場訪問の意欲向上にも繋が